

報道関係者各位

株式会社イーアイアイ

2026 年 1 月 23 日

イーアイアイ、SparkEye®によるリチウムイオン電池（LiB）火災対策で  
「特別賞（環境省）」を受賞

株式会社イーアイアイ（本社：東京都千代田区、代表取締役：胡 浩）は、当社の AI 火災検知システム「SparkEye®」によるリチウムイオン電池（LiB）の火災対策が評価され、第9回「インフラメンテナンス大賞」において「特別賞（環境省）」を受賞しました。

【受賞案件名】

LiB 火災対策に向けた AI 火花検知システム「SparkEye®」の普及



写真 授賞式の様子

## ◆インフラメンテナンス大賞について

インフラメンテナンス大賞は、社会資本のメンテナンスに関する優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することで、事業者・団体・研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化と理念の普及を目的とした表彰制度です。

第9回は令和7年5月14日から同年7月16日まで募集され、応募総数は332件でした。有識者による選考委員会（委員長：岩城一郎 日本大学工学部土木工学科 教授）の審査を経て、環境分野では環境大臣賞1件および環境省関連の特別賞1件が決定しました。

<特別賞・優秀賞 表彰式>

日時：令和8年1月21日（水）14:00～15:00

場所：中央合同庁舎3号館（国土交通省）10階 共用会議室（東京都千代田区霞が関2-1-3）

## ◆AI 火花検知システム『Spark Eye®』とは

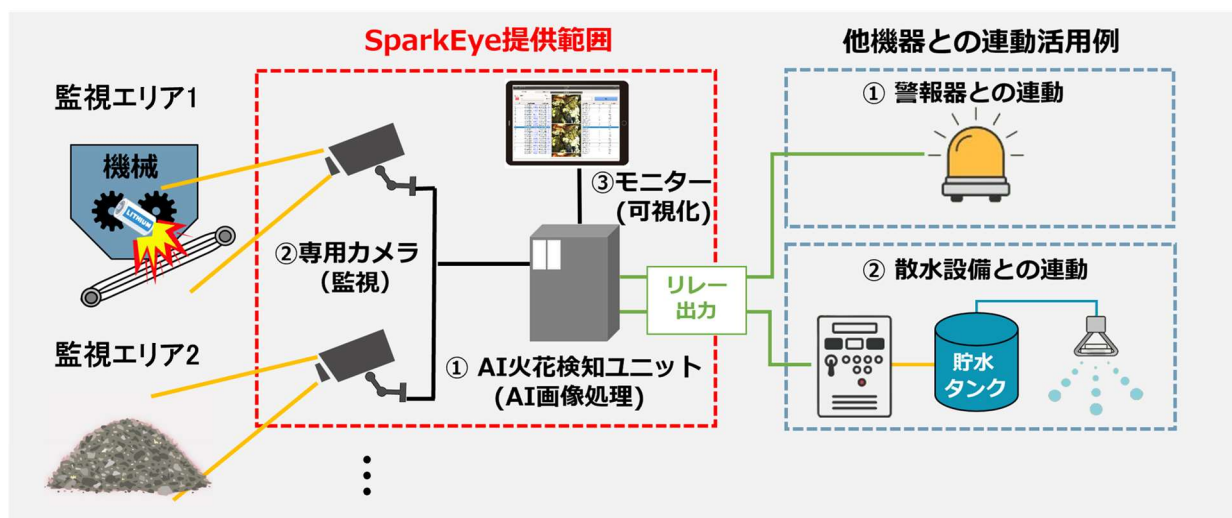


廃棄物処理施設やリサイクル工場では、LiB 混入を起因とする火災事故が頻発しており、火災の早期検出および延焼抑制が喫緊の課題となっています。

「SparkEye®」は、画像認識 AI によりカメラ映像から火花・火炎を自動検知（最短 0.05 秒）し、アラート発報や自動散水設備等との連携によって、火災の発生・延焼リスク低減を支援するシステムです。カメラ映像による検知のため、ガラスやアクリル越しの設置にも対応し、火災リスクの高い破碎機周辺やベルトコンベア上などの監視にも適用可能です。さらに、検知データ（検知画像、日時、検知開始・終了時刻等）を可視化でき、現場での分析・再発防止にも活用できます。

これまで民間企業および自治体の廃棄物処理施設を中心に、全国で 40 台以上が導入されており、導入先における延焼リスク低減に寄与しています。

## ◆SparkEye のシステム構成





## ◆SparkEye による検知事例



## ◆火花・煙に対応した2種類の火災検知ソリューション

当社では、監視箇所や火災の特徴に応じて、火花・火炎検知に対応する「SparkEye®」に加え、煙検知に対応する「SmokeScanner®」も提供しています。

製品		
検知対象	火花 火	煙
推奨監視場所	破砕機 ベルトコンベア ごみピット（投入口） 等	ごみピット（全体） ヤード 等
カメラ 最大接続数	標準仕様：1～2 台 オプション：3 台以上 最大：10 台以上 ※	標準：1～4 台 オプション：5 台以上 最大：10 台以上 ※

※接続台数に応じて、必要なサーバースペックおよび機器構成が異なります。

#### ◆今後の技術開発：「SaaS 型 AI 火災検知プラットフォーム」

当社では、AI 火災検知の運用をさらに高度化するため、各拠点の検知ノードを一元管理できる SaaS 型 AI 火災検知プラットフォームを開発しています。これまで日本全国の拠点において「SparkEye®」と「SmokeScanner」を合わせて 50 台以上導入してきた知見を踏まえ、遠隔から各拠点の閲覧・設定・運用を可能にする SaaS 型プラットフォームとして、2026 年内の発売を目指しています。

#### <開発中プラットフォームの特長>

- ・ SaaS 型プラットフォームであり、いつでもどこでも各拠点の状況を閲覧可能。
- ・ 各拠点の監視カメラ、検知状況、感度調整、非検知エリア等のシステム設定が可能。
- ・ アカウントの権限設定により、担当者による各層管理の運用が可能。
- ・ 遠隔通知システムと現場パトライトや散水設備等の連携・運用設計が容易。

#### ◆今後の普及拡大：「補助金の活用支援」

LiB 火災対策として、当社の「SparkEye®」「SmokeScanner®」等の AI 火災検知システムの導入に対し、環境省や地方自治体の各種補助制度が活用できる場合があります。導入をご検討の際は、対象制度や申請要件に応じた活用方法についてご提案します。

#### ◆参考価格

- ・ SparkEye 定価 490 万円（AI カメラ 2 台） ※工事費別途
- ・ SmokeScanner 定価 820 万円（AI カメラ 4 台） ※工事費別途

### 【関連リンク】

- ・環境省報道発表：第9回「インフラメンテナンス大賞」の受賞者決定について  
[https://www.env.go.jp/press/press\\_02379.html](https://www.env.go.jp/press/press_02379.html)
- ・SparkEye：<https://sparkeye.net/>
- ・SmokeScanner：<https://smokescanner.swm-eii.com/>
- ・環境省 LiB パートナー：[https://lithium.env.go.jp/recycle/waste/lithium\\_1/partner.html](https://lithium.env.go.jp/recycle/waste/lithium_1/partner.html)

### 【イーアイアイについて】

弊社は2018年に創業した研究開発型スタートアップです。AI/IoT、ロボティクス、ビッグデータなどの先端技術を活用し、環境・エネルギー分野における現場のリアルな課題を解決するシステムソリューションの企画・設計・開発に取り組むディープテック企業です。

### 【会社概要】

商号：株式会社イーアイアイ  
ホームページ：<https://eii-net.co.jp>  
所在地：東京都千代田区神田錦町1-23 宗保第二ビル4F  
代表者：代表取締役 胡 浩（こう）  
設立日：2018年12月28日  
事業内容：次世代AIロボットの開発・販売  
大規模マルチモーダルモデル（LMM）の研究開発  
環境・エネルギー分野におけるAI/IoTソリューションの開発・販売

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社イーアイアイ 企画営業部  
E-Mail: [info@eii-net.co.jp](mailto:info@eii-net.co.jp)  
TEL: 03-3518-9797